

平成16年度「21世紀COEプログラム」将来構想等調書、拠点形成計画調書及び研究教育活動調書 作成・記入における平成15年度からの主な変更・留意点

< 調書全般 >

- 調書は、原則として日本語によることとするが、**英語による申請も可**。(事務手続上必要な項目を除く)

< 拠点形成計画調書(様式2) >

- (項目2「申請分野」)
申請分野は「**革新的な学術分野**」のみ。
- (項目4「事業推進担当者」)
 - ・ 同一研究者が事業推進担当者として参画できる拠点形成に係る申請は1件。
 - ・ 「21世紀COEプログラム」の平成14、15年度採択拠点の事業推進担当者は、平成16年度申請への参画不可。
- (項目5「申請経費」)
事業内容等を勘案の上、1件当たり年間1千万円から5億円の範囲で、**必要な経費に限定(5億円を超える申請、1千万円を下回る申請は審査の対象から除外)**
- (項目6「拠点形成の目的、必要性・重要性」)
「**革新的な学術分野**」と考える点はどこかを記入。
- (項目9「初年度及び次年度の各経費の明細」)
研究教育拠点形成に関連し、拠点(組織)に対する学内経費や拠点(組織)に所属する研究者における外部資金による研究活動をどのように見込んでいるのか、確認のために所要額(競争的資金は上段内数)を記入。

< 提出方法・提出部数 >

- 申請カード・拠点組織表をExcelで作成し、e-mail:21coe@jsps.go.jpへ送信。
(事務処理の敏速化・電子化・正確化を促進(申請カード(内訳)は不要))
- 拠点形成計画調書概要は**片面印刷**したものを2部提出。
- 将来構想等調書(様式1)、拠点形成計画調書(様式2)、研究教育活動調書(様式3)の提出部数は**50部**。